

4年 社会 自然災害 一問一答（20問） 版E

なまえ： _____

日づけ： _____

問いの答えを、右の欄に書きましょう。

- (1) おもに夏から秋に、南の海で発生して日本にやってきて、強い風と大雨をもたらすものを何というか
- (2) 地震のゆれで、水をふくんだ砂の地面が水のようになり、建物がかたむいたりすることを何というか
- (3) ある場所で、地震のゆれがどのくらい強かったかを表す数を何というか
- (4) 大雨のとき、山の土や石が水といっしょになって、いきおいよく谷を流れ下ることを何というか
- (5) 1923年9月1日に起き、東京や横浜で大きな火事の被害が出た、地震による災害を何というか
- (6) 災害で家にいられなくなった人が、しばらくのあいだ生活する学校の体育館などを何というか
- (7) 災害の危険からにげて、まず命を守るために集まる、広い公園などの安全な場所を何というか
- (8) 大雨で川の水がふえたとき、あふれそうな水を一時的にためておく広い土地を何というか
- (9) 市町村が、災害の情報や避難のよびかけを、まちの屋外のスピーカーなどで知らせるしくみを何というか
- (10) 大雨で川の水が町に入りこまないように、川岸に土などを高くもり上げたものを何というか
- (11) 災害の危険が高いとき、市区町村が、危険な場所にいる人は全員にげるように出すよびかけを何というか
- (12) ふだんは別の仕事をしている地域の人たちが、火事や災害のときに消防の活動をする組織を何というか
- (13) 大きな災害のとき、おもに県知事のたのみを受けて、救助や物資を運ぶ活動を行う国の組織を何というか
- (14) 水道が止まった地域に、飲み水などを運んで配る車を何というか
- (15) 数十年に一度のような、これまでにない大雨などが予想されるときに出される、いちばん強い知らせを何というか
- (16) 天気や地震・火山のようすを観測して、災害にそなえる情報を出す国の役所を何というか
- (17) 災害のときすぐににげられるよう、水や食料・懐中電灯などを入れて用意しておくふくろを何というか
- (18) 災害が起きたときに安全に動けるよう、ふだんからにげ方などを練習することを何というか
- (19) 町内会などの地域の住民が、自分たちで協力して災害にそなえるためにつくる組織を何というか
- (20) 災害のとき、国や県・市町村が救助や支援を行うことを何というか
